

平成28年 11 月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成28年11月22日(火)

三好市教育委員会1F 中会議室

開会 午後14時00分

閉会 午後15時20分

(2) 出席委員の氏名

委員長	前川 順子	委員長職務代理者	谷 敏司
委員	新久保 由美子	委員	大北 慶子
教育長	倉本 淳一		

(3) 委員を除くほか、議場に出席した者の氏名

▼出席職員

教育次長	松丸 忠仁
学校教育課長	梶芳 青児
生涯学習・スポーツ振興課長	安宅 広樹
文化財課長	加藤 昌子
教育指導主事	川人 正恭
池田学校給食センター所長	西村 陽子

(4) 傍聴人

▼傍聴人

0名

◆前川委員長

ただいまの出席委員は5名であります。定足数を満たしておりますので、ただいまから平成28年三好市教育委員会11月定例委員会を開催したいと思います。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布いたしました議事日程の通りでございます。

(5) 議事録署名者の指名

谷 敏司委員

◆前川委員長

初めに議事録署名者を決定いたします。議事録署名者は例月通り、谷委員さんをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

続きまして報告事項に入ります。最初に教育長から諸般の報告をお願いします。

(6) 報告事項

◆倉本教育長

それでは、事業報告をいたします。

まず、10月26日、三好市のPTA連合会と教職員組合から要望書を受け取りました。PTAからは、特別支援教育支援員配置の継続と学校施設・設備の充実等の要望があり、教育委員会からは、支

援員の配置については継続する旨の、また施設・設備についても児童生徒の安全性を最優先し、緊急性の高いものから整備を行うとの回答をいたしました。教職員組合からは人事異動及び勤務条件の改善等についての要望があり、教育委員会から人事異動については公平・公正な人事異動に努めるとともに、教職員の定数改善等については、国や県への要望を引き続き行うとの回答をいたしました。

同じ 26 日、約 1 か月の海外留学をする池中生 3 名の表敬訪問があり、市長と共に激励をいたしました。予定では明日 23 日に帰国することになっております。

11 月 4 日、総合教育センターで市町村教育委員会の研修会がありました。全員の教育委員さんがご出席でしたので、内容については省略いたします。

11 月 9 日、芝生小学校で文科省指定人権教育研究会が開催され、出席いたしました。県内外各地から約 300 名を超える出席があり、盛会で辻幼稚園と芝生小学校の実践発表も好評でした。

11 月 11 日、緊急の管区別臨時教育長会が開催され、出席いたしました。これは 11 日の新聞報道でもありましたように、修学旅行引率中における小学校教員の不祥事が発覚し、再発防止への対策等の指示がありました。また、翌日の 12 日には中学校教員の不祥事が報道され、三好市では 11 月 14 日に臨時の（園）校長会を開催し、学校長に対して教職員の倫理観の確立や服務規律の確保の徹底について、指示や指導を行ったところです。

同じく 11 月 14 日、山城町大歩危で富士正晴全国同人雑誌賞の授賞式があり、前川委員長さん、新久保委員さんにもご出席をいただきました。参加者は 60 名ほどの授賞式でしたが、県外の参加者からは三好市の自然のすばらしさや文学的な取組みを評価していただき、開催の意義があったのではないかと考えております。

11 月 17 日と 18 日には、文科省主催の市町村教委研究協議会が高知市で開催され、事務局から 3 名が参加をいたしました。この件につきましては、後ほど別に報告をさせていただきます。

11 月 21 日、小中一貫教育実践地区交流研修会が開催され、事務局から 5 名が出席いたしました。西祖谷校区も学校の小規模化が進み、様々な課題を抱えていますが、幼・小・中学校が連携を深め、一体となって課題解決に取り組んでおります。先日、テレビ、新聞等の報道がありました外国人観光客への英会話による接待等の体験的学習についても参加者から高い評価を得ました。

以上が事業報告です。

つぎに行事予定ですが、12 月 21 日（水）、13 時から市長部局との総合教育会議、それに引き続き 14 時から定例教育委員会を予定しておりますが、ご都合はいかがでしょうか。

なお、その他の行事予定につきましては、欄外記載のとおりです。何かご不明の点がありましたらご質問ください。報告は以上です。

◆前川委員長

ただいまの報告事項について質疑等ございませんか。

来月の定例教育委員会の前に、総合教育会議があるのですね。

◆倉本教育長

前回の総合教育会議では、市長の方から小学生の海外留学についてとジオパークについてご提言をいただきました。ジオパークについては今検討しているところです。

◆前川委員長

他に何か質疑等ございませんか。

◆新久保委員

10 月 31 日のジオパーク全国大会報告があったようですがどうでしたか。

◆倉本教育長

教育委員会から私と文化財課の林さんと市長部局から 2 名の計 4 人で参加しました。盛大な会でジオパークに関係する市町村長がほとんど出席されて、事業の報告等が行なわれました。その後、私たちは参加できませんでしたが、伊豆半島のジオツーリズムもありました。ジオパークがどういうものかよくわからないので勉強に行かせていただきました。

◆新久保委員

以前の総合教育会議で黒川市長がジオパークを取り組んでいくということでしたが、どういうものがあまりイメージできないので、教えていただけないでしょうか。

◆倉本教育長

ジオパークの「ジオ」とは「地球・大地」、「パーク」は「公園」ですので、「ジオパーク」は「大地の公園」という意味です。もともとは地球の内部の地核変動によって生じた地層や火山の地質資源を活用し、かつ保護していこうという目的があります。それも一時的なものではなく将来にわたって残せるような活動をしていこうということで、そのためには教育や観光によって元気な町づくりを行うということで、三好市としては大歩危・小歩危が貴重な、該当する場所であります。また、ジオパークとは地質的、地学的だけではなく、その大地の上で生活する人間の営み、文化や歴史を含めるということなので、大歩危がいかに貴重な地質資源であってもジオパークとしての認定はなかなかされないと思います。それをどのように活用して、町を元気にするために活用しているかということが評価されます。他の地域をみると2年から3年くらいの期間で準備してジオパークとして認定されているように思います。四国では、高知県の室戸岬が世界ジオパークになっています。日本ジオパークに認定されて、ある一定の期間を経て世界ジオパークへ申請できるようになっています。もう一つは愛媛県の西予市が認定されていて、四国ではこの2カ所がジオパークとなっています。三好市もジオパークで町おこしをしたいということです。お金もかかりますが、人の力、マンパワーも必要となってきます。金を使うということは経済の活性化にもなるし、市民が人をガイドすることで活躍すると活気づくということにもなると思います。市外から人がどんどん訪れて交流が盛んになれば町おこしの有効な手段になると思います。

◆前川委員長

それは国がそのための費用を出してくれるのですか。

◆倉本教育長

それは国ではなく、NPO 法人なのでできません。県からは多少補助金を出すことはあるみたいです。

◆前川委員長

他に何かございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆前川委員長

続いて、“平成28年度就学援助費対象者について”関係部局から報告をお願いします。個別の交付対象者についての報告を行いますので、非公開といたしますがよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆前川委員長

それでは非公開といたします。

《 非 公 開 》

◆前川委員長

それではただいまから公開といたします。報告事項は以上でございます。

(7) 承認事項

◆前川委員長

続いて承認事項に入ります。“平成28年10月定例会議事録の承認について”を議題といたします。事前に送っていただいておりますが、変更点等ございませんか。

(議事録修正のため省略)

◆前川委員長

議事録につきましては、以上の変更で承認をお願いいたします。

(8) 議 案

第 24 号 平成28年三好市議会12月定例会議補正予算について

第 25 号 三好市立小・中学校文書及び情報取扱規程の制定について

第 26 号 三好市立小・中学校財務事務規程の制定について

◆前川委員長

続いて議案審議に入ります。議案第24号“平成28年三好市議会12月定例会議補正予算について”を議題といたします。関係部局より説明をお願いします。

◆梶芳課長

2ページをお願いします。議案第24号“平成28年三好市議会12月定例会議補正予算について”でございます。3, 4ページをお願いします。給与改定に伴います補正でございます。平均0.17%の給与アップの差額と勤勉手当0.1カ月に対する予算でございます。5ページをお願いします。王地小学校のプール修繕工事設計委託業務でございます。今年度よりプールの塗装がはがれだし、プールに大量の塗装が浮遊している状況です。12月に補正を計上し、設計により詳細な工事額をつかみ、平成29年度早期に修繕工事にかかりたいと思っております。予算額は90万円でございます。最後に幼稚園臨時職員賃金の補正でございます。今年度は3名の病休者がでっております。これに伴う賃金不足分の補正でございます。よろしくをお願いします。

◆前川委員長

ただいま関係部局より説明がございましたが、質疑等ございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆前川委員長

それでは本案は原案どおり決定することに異議ございませんか。

◆委員一同

異議なし。

◆前川委員長

異議なしと認めます。よって議案第24号“平成28年三好市議会12月定例会議補正予算について”は原案どおり決定されました。

続いて、議案第25号“三好市立小・中学校文書及び情報取扱規程の制定について”を議題といたします。関係部局より説明をお願いします。

◆梶芳課長

7ページをお願いします。議案第25号“三好市立小・中学校文書及び情報取扱規程の制定について”でございます。8ページをお願いします。第1章(目的)は“文書及び情報の取り扱いについて必要な事項を定めることにより、校長の権限に属する事務の決裁について必要な事項を定め、事務執行の適正かつ能率的運営とその責任の明確を図ることを目的とする。”として整理いたしました。第5条の(1)“親展文書以外の文書は、開封の上、その余白に受付印を押印し、かつ文書受付簿にその文書の件名等を記入し、校長の閲覧に供したのち担当者に配布すること。ただし、軽易な文書である時は、文書受付簿への記入を省略することができる。”という文書の基本的な扱いをまとめたものです。

9 ページをお願いします。立案につきましても立案の留意点、会議、発送の方法などを書いています。第 16 条“文書取扱主任は、文書分類表に従い文書の完結順に整理し、所定の場所に保管しなければならない。ただし、完結文書の整理保管は担当者にさせることができる。”という基本的な文書の取り扱いを定めたものです。10, 11 ページをお願いします。第 27 条（個人情報の収集）ということで、“個人に関する情報を収集するときは、原則として本人及び保護者から収集するとともに、あらかじめ収集の目的等を告知しなければならない。”また情報の提供ということで第 29 条の 2 “情報を提供することにより、個人のプライバシーもしくは法人等の正当な利益を不当に侵害する情報、または公正な学校運営に支障を生ずる情報は提供しないものとする。”としております。文書管理について要綱、規定が今までございませんでしたので、新たに制定したものです。

◆前川委員長

ただいま関係部局より説明がございましたが、質疑等ございませんか。

◆谷委員

今までは各学校が独自に行っていたのですか。

◆梶芳課長

今回、学校教育課の事務担当と学校の事務の先生で作成しました。

◆前川委員長

他に質疑等ございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆前川委員長

本案は原案どおり決定することにご異議ございませんか。

◆委員一同

異議なし。

◆前川委員長

異議なしと認めます。よって議案第 2 5 号“三好市立小・中学校文書及び情報取扱規程の制定について”は原案どおり決定されました。

続いて、議案第 2 6 号“三好市立小・中学校財務事務規程の制定について”を議題といたします。関係部局より説明をお願いします。

◆梶芳課長

13 ページをお願いします。議案第 2 6 号“三好市立小・中学校財務事務規程の制定について”でございます。14 ページをお願いします。第 1 条“この規程は、別に規定があるもののほか、三好市立小・中学校の予算、経理及び物品に関する事務に関し、必要な事項を定めることを目的とする。”第 2 条“校長は、学校における財務事務を総括する。”としております。第 6 条“校長は、三好市会計規則の定めるところにより、支出負担行為をしなければならない。”15 ページをお願いします。第 8 条“経理事務担当者は、学校配当予算の状況を常に把握し、その適切な執行管理に努めなければならない。”物品につきましても、物品の管理につきまして適切に管理するよう定めておりますのでよろしく願います。

◆前川委員長

関係部局より説明がございましたが、質疑等ございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆前川委員長

本案は原案どおり決定することにご異議ございませんか。

◆委員一同

異議なし。

◆前川委員長

異議なしと認めます。よって議案第26号“三好市立小・中学校財務事務規程の制定について”は原案のとおり決定されました。

以上で議案審議が終わりました。事務局より報告事項があるようなのでお願いします。

◆梶芳課長

平成28年度 市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)報告について報告させていただきます。

去る17日と18日の2日間にわたって高知市で開催された、平成28年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)に倉本教育長、松丸次長、梶芳課長の3名が出席しました。

第1日目の全体会では、文科省からの行政説明があり、新教育委員会制度に伴う全国の移行状況の説明等がありました。例えば、新教育長を任命した市町村は、全国で約1/3であるとか、教育大綱の策定済みは1/2を少し超えた状況とかという報告でした。ただし、これらは今後2年間で完全に移行することになると思います。そのほか、学習指導要領の改訂の方向性やチーム学校としての学校運営の在り方等について説明がありました。そのあと、放送大学教授の小川正人先生より「チーム学校」についての基調講演があり、同じ主題でパネルディスカッションも開催されました。

第2日目は事例発表と研究協議の分科会があり、第1分科会の「厳しい環境にある子どもたちへの支援」は、松丸次長が出席しました。鳥取県伯耆(ほうき)町と高知県高知市教育委員会からの発表があり、伯耆(ほうき)町からは、「SSWの活用と伯耆未来塾の取組について、高知市からは、「高知チャレンジ塾における学習支援の概要」についての取り組みでした。

伯耆(ほうき)町では、平成30年に全ての学校をコミュニティスクールにすることを掲げており、就学援助率は、11.63%と全国平均を下回っていますが、伯耆町生徒の学力を100とすると就学援助を受けている子どもの学力は、87.5%となっておりますが、伯耆未来塾として、中学校区2か所で全ての子どもを対象にした学習支援を行っており、平成28年度は年36回塾を開いています。また、SSWを小学校2名、中学校1名配置し年間600時間活動しています。

高知市でも同様に、「貧困を連鎖させない」として「高知チャレンジ塾」を平成23年度から開いており、平成25年度からは市内10か所となっております。塾の内訳は、1/3一般、1/3準要保護、1/3生活保護世帯で生活保護世帯の3割と一番来て欲しい子どもが来ていない実態があります。

塾は、一斉授業では無く、個人の状況に応じた取り組みをしています。とにかく塾に来てもらうため、「学びの場と居場所のバランス」に苦勞されています。

SSWは中学校区に一人配置が平成27年度から実現しており、福祉課など関係機関との連携を密にすることはもちろん、不登校児童生徒へ対応も行っています。

第2分科会の「校種間の連携・協働の推進」には、教育長が出席しました。広島県呉市と高知県梶原町教育委員会からの発表があり、共に小・中一貫教育の取り組みでした。呉市では中1ギャップの解消のために平成12年から取り組んできており、不登校生の現象や学力向上の成果が出ているとのことでした。梶原町は平成23年に梶原学園として小中一体型の一貫教育を実施しており、18年間で子どもを育てる体制づくりを確立するために、保育所・幼稚園、小学校、中学校、地元の県立高校との一貫教育のための連携強化を図っているとのことでした。特に中学校から地元高校への進学率を高めるために、海外留学補助制度等の設立などの報告がありました。

第3分科会の「防災脅威については、梶芳課長が出席しました。

防災教育については福岡県久留米市と高知県黒潮町から発表がありました。久留米市は筑後川の氾濫による洪水を一番大きな災害と想定しています。筑後川の生み出す様々な恵みを学びながら日本三大暴れ川「筑紫次郎」について防災教育を実施しています。昭和28年6月の大洪水で大きな被害がありその時の資料等により災害を学んでいます。国土交通省河川事務所から洪水時と現在の同地点の写真を提供してもらい60年前の災害の大きさを実感しているとのこと。また堤防、ダムまた川幅を広げるなどの治水事業に関する事業を学ぶことで風水害の怖さを学んでいます。事業を学ぶことを通じて自然の力は我々が想像している以上に大きいことを学校で確認し家庭に持ち帰って対策を考えるような教育を進めています。

黒潮町の防災教育については地震時の津波に対する教育が中心で行われています。防災の基本理念

17の指針を制定しているということでございます。まずは「あきらめない。揺れたら逃げる。より早く、より安全なところへ。」ということで津波が起きそうなときはまず高い所に避難することを徹底して教育しております。最大津波高34mの町で犠牲者ゼロを目指しているということです。黒潮町独自の津波防災プログラムにより小学校低学年から繰り返し防災教育を進めているということです。子どもから私たちは100回逃げて津波が来なくても101回目も逃げるといった意識が芽生えていることとのことです。町を挙げての対策で長期間にわたり災害に強い地域文化をつくることを目指しており参観日、運動会などを利用して防災意識の高揚を図っているとのことです。学校に施設西部に関してですが、町内に高校1校、中学校2校、小学校8校ありますがそのうち5校が津波浸水地域にあるということで今後の整備が必要ということです。

◆前川委員長

これで平成28年三好市教育委員会11月定例委員会を終わります。お疲れ様でした。

以上